

## 射水市こども計画（案）について

## 1 （仮称）射水市こども計画（素案）のパブリック・コメントの結果について

## (1) 実施期間

令和6年12月24日（火）～令和7年1月23日（木）

## (2) 閲覧場所等

ア 射水市ホームページ

イ 窓口等での閲覧（6箇所）

子育て支援課、各地区センター、中央図書館

## (3) 寄せられたご意見等

ア 意見等の提出者数 3名

イ 意見等の件数 10件

## (4) ご意見等の提出方法

FAX 1件

電子メール 2件

## (5) ご意見等の概要・ご意見等に対する考え方

## 第三章 計画の基本的な考え方

NO.	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正
1	1 基本理念 《6つの基本方針》 4 地域で支える子育て支援 (P19)	「地域で育てる子育て支援」が印象に残った。地域で子どもたちを見守り、子育て世帯を支える方針は子どもの成長と保護者にとって良いと感じた。	こども・若者が個人として等しく健やかに成長することができ、子育てを地域で支える仕組みを構築するため、家庭や地域、企業等が連携・協力して支援する取組を後押ししてまいります。	無

## 第五章 基本目標と施策の展開

NO.	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正
2	1 こどもの権利保護の推進 (1) こどもの権利啓発及び確保に向けた取組 No.14 こどもの意見表明と施策への反映 (P50)	(こどもや保護者の意見の活用について) こどもや子育てに関わる人が自分の意見を表明できることは、子どもにとっては自己肯定感を育む大切な要素だと思います。しっかり子どもの意見が反映され、評価される仕組みを作ってほしいと思います。そうなれば、こどもたちが社会に参加している実感を持てるようになることを期待しています。また、同様に子育てに関わる人の意見もしっかり反映していただきたい。	様々な機会をとらえ、意見等を聴き、こども施策へ反映する仕組みを構築できるよう関係課等と連携してまいります。	無

3	2 若者・子育て世代から選ばれる環境づくり (1) 安心して生活できる環境づくり (P52)	(若者支援と仕事・ライフイベントの両立) 若者がキャリアやライフイベントに希望を持てる環境を作ることは、少子化や貧困の解決にも繋がると思います。結婚や子育てを望んだ場合に支援を受けられる体制が整っていると、若い世代にとっては安心できます。	将来、こどもを安心して産み育てていくうえで、住宅や公共交通、子育て関連施設等の環境は重要であることから、若者・子育て世代が移住・定住、就労の場として射水市を選んでいただけるよう、魅力あるまちづくりに関連した取組を推進してまいります。	無
4	3 子育て世帯への支援体制の整備 (P54)	(子育て世帯への安心感の提供) 子育て世帯が抱える不安や悩みを早期に察知し、適切に支援することが、家庭全体の安心感を生むと思います。保育士として、家庭と連携しながら支援できる体制が整うことに期待しています。意見を述べたとしてもどこでどのように活用されているのかが分からないことが多くあります。	子育てに関する悩みや不安を解消するため、行政情報の提供の在り方や地域交流・仲間づくりなどへの支援、地域の人材活用等が重要となることから、地域や関係機関等と連携・協働し、各種取組の効果的な実施に努めてまいります。	無
5	3 子育て世帯への支援体制の整備 (2) 良好な幼児教育・保育環境の整備 (P55) (6) 子育て世帯の経済的負担の軽減 (P62)	(経済的な不安を取り除く支援) 子育て世帯が抱える経済的な不安を軽減することは、安心して育児ができる社会を作るために必要不可欠です。経済的な支援があることで、子育てに専念しやすくなると思います。そのためにも子育て世代と子育てに関わる業務に就く人への支援を強化してもらえると保育士を目指す学生も増えると思います。	妊娠・出産、子育て期の必要に応じた経済的支援を行うことにより、子育て世帯にかかる経済的負担の軽減を図り、子どもを安心して産み育てることができる環境づくりを推進してまいります。 また、保育サービスの安定供給や保育の質の向上を図るうえで、保育人材の確保は喫緊の課題であることから、保育人材の確保・定着につながる取組を進めてまいります。	無
6	3 子育て世帯への支援体制の整備 (2) 良好な幼児教育・保育環境の整備 No.5 保育の職場魅力発信 (P56)	(保育者の魅力の発信) 幼児教育や保育サービスを充実させるためには、保育者の数を増やす必要があると思います。でも、いまは非常に減っているのもっと、魅力発信することが重要だと思います。射水市にしかない保育者をを目指す学生への支援を検討してください。	保育士養成校や市内高等学校と連携し、「射水の保育園・こども園訪問ツアー」を引き続き実施するとともに、将来、保育士を目指す子どもが増えるよう効果的な取組について調査・研究してまいります。	無
7	3 子育て世帯への支援体制の整備 (3) 地域子育て支援等の充実 (P56)	(地域で支える子育て) 地域全体で子育てを支える取組は、現在の子育てにとって必要だと思いますが、信頼関係が築けていないとなかなか地域や他人にわが子を預けることは不安なので交流イベントを積極的に展開できるような予算を地域や団体に付けてほしい。	ファミリー・サポート・センターや住民による地域支え合い組織等の活動を支援し、地域で子育てを支える仕組づくりに努めてまいります。	無

8	4 困難を抱える子育て家庭への支援 (1)生活困窮家庭等への支援 (P64)	(困難を抱える家庭へのきめ細かな支援) 特に困難を抱える子どもや家族に対する支援が重要です。自分たちの周りにも学費を自分で払っている学生は勉強したくてもアルバイトをしないではいけない状況になっていて、学びたいのに経済的な理由で学べない人がいるので。支援が必要な人がしっかり支援を受けられるような体制が整うことは、社会全体の福祉向上に繋がると考えます。	こどもの将来が家庭の生活環境や経済状況によって左右されることがないように、各種事業を連携して取り組むことで、効果的な支援につなげてまいります。	無
9	4 困難を抱える子育て家庭への支援 (1)生活困窮家庭等への支援 (P64)	(ライフステージに応じた支援の重要性) こどもや子育て当事者への支援がライフステージごとに途切れることなく行われることは、すごく大事だと思います。特に、思春期や青年期に向けての支援（閉じこもり・引きこもり対策）がもっと充実すれば、より安心して成長できると思います。	様々な困難を抱えるこども・若者、その家族が円滑な社会生活を営むことができるよう、また、安心して相談できる場が提供されるよう、その状況や支援ニーズに応じてきめ細かい支援を行ってまいります。	無

## 第六章 推進体制

NO.	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正
10	1 計画の推進に向けて (3)家庭、地域、企業、関係機関等との連携・協働 (P77)	こども大綱に基づき、全ての社会でインクルーシブへの取り組みを方向づけ、推進体制を確立しこども計画を充実したものとして欲しい。	障がいの有無や国籍、生育環境、性的指向等により差別的な取扱いを受けることがないように、インクルーシブの視点も踏まえ、地域や企業、関係機関等と連携・協働し、こどもの健全な成長や若者支援、子育てを地域全体で支える環境づくりに努めてまいります。	無

## 2 射水市こども計画（案）及び概要版

別添1・2のとおり